



令和3年9月8日(水)
No.6 9月号
横浜市立新羽中学校
☎542-1680 FAX 541-1038

『学びへの意欲と自信を』

校長 荻野 弘

臨時休業のため5日遅れの分散登校で長い夏休みを終えて、学校が再開しました。言うまでもなく、新型コロナウイルス感染症の感染状況は厳しい状況にあります。今まで以上に自分自身の健康管理と感染予防には十分に注意してほしいと思います。

さて、4月よりみなさん一人ひとりに貸与しておりますクロームブックですが、今まで校内での使用に限られていましたが、いよいよ、自宅に持ち帰り使用が開始されることになりました。これからICT機器を用いた学習活動が本格的に始まることとなります。

これからの教育現場では、新時代における先端技術を効果的に活用した学びのあり方が求められ、多様な子供たちを「誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学び」の実現をめざしていくなかで、学校や教師の役割を考えていく必要があると思います。まずは、我々教職員がICT機器の活用への自信をもてるようにしていなければならぬと感じています。

かなり昔の話になってしまいましたが、私が初任者として採用された学校は、その年に「教育現場にパソコンをどのように導入し活用するか」というテーマで研究指定を受け、全国的な発表をすることになりました。当時のパソコンはひとつの机を占領してしまうくらいのもので、学校現場にも少しずつ入り始めていましたが、家庭にはほとんど普及していませんでした。文系の学生だった私はパソコンに触れたことはまったくありませんでしたが、研究推進委員のメンバーに加わることになりました。授業に活用するか、成績の処理や文書作成など事務的な作業に活用するかをグループを決める際に、止めておけばよかったのに、どうせやるならと授業で活用を進めるグループに属してしまいました。当時はソフトと呼ばれるようなものはなく、数学や理科などで授業の実践例はありますが、社会科ではほとんどありません。自分でソフトのようなものを作製することなどとてもできません。どうしたものかと途方に暮れていました。そんな時に、当時、初心者用のプログラム言語にBASICというものがあることを知りました。そのテキストの中で「三角形の面積を求める」という簡単なプログラムが紹介されていました。そのプログラムを入力し実行させると画面に「底辺は? = ■」と表示され、■(カーソル)が点滅するので、底辺の長さを入力します。次に「高さは? = ■」と同じように表示されるので、高さを入力すると「面積は = ○○c㎡です」と画面に表示されました。今では何でもないのでしょうが、「自分でプログラムを入力し、パソコンがその通り動いている」その時の喜びと感動は今でも忘れることのできない衝撃的なものでした。これなら何とか自分でもなるかもしれないという自信と学びへの意欲が湧いてくるのを感じました。

生徒のみなさんには、ICT機器での学習活動を通じて、Society 5.0時代の到来に備え、新しい時代に求められる能力をしっかりと身に付けてほしいと思いますが、それ以上にICT機器での学びをきっかけとして、学習に対して自信や意欲をもてるようになってくれたらうれしいです。そのためにはどうしたらよいか私自身も考えていきたいと思っています。

【ホームページに掲載のため生徒氏名はイニシャルにしています】

よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 横浜市教育長賞 受賞

3年2組のF. Kさんが港北区の予選で、代表に選ばれ、横浜市の本選に参加されました。コロナ禍のため、ビデオで収録しての参加となりましたが、見事に「横浜市教育長賞」を受賞しました。この賞は「横浜市長賞」に次ぐ賞になります。賞状、楯とともに、「よこはま子ども国際平和プログラム実行委員の委嘱状」も交付されました。

スピーチの内容は前回の学校だよりに掲載させていただきました。本当におめでとうございます。



新羽の歴史を垣間見て 2

昨年度の学校だよりでも新羽地区の歴史について、載せさせていただきましたが、今回も昨年の11月5日に「わがまち港北」出版グループから発行された『わがまち港北3』の文章の一部を載せさせていただきます。

新羽地区は港北区の西部に位置し、南側から東側へ鶴見川が流れ、川を挟んで小机町、鳥山町、大豆戸町、大倉山と接しています。北は新吉田、西側は区境で都筑区に接しています。かつて武蔵国都筑郡新羽村と呼ばれていた地域とほぼ同じです。地区の東半分は平地で、現在は大半が準工業地域に指定されており、工場やマンションが林立していますがかつては水田が広がっていました。地区の西半分は、丘陵が南北に延びていて、亀甲橋のたもと、鶴見川岸まで突き出しています。市街化調整区域に指定されており、畑地や果樹園新羽丘陵公園など豊かな自然が残されています。

明治5年(1872)の新羽村は、戸数174戸、人口1,013人でした。明治22年(1889)、新羽村は吉田村、高田村と合併して新田村となり、新田村大字新羽とよばれるようになりました。そして、横浜市に編入された昭和14年(1939)に新吉田、高田と分かれて、新羽町となりました。

昭和52年(1977)に開校した新羽小学校の校章は、周囲の三本線で地域のシンボル鶴見川を表し、下部の笹の葉は学校周辺にある美しい竹林を表しています。鶴見川丘陵部の豊かな自然環境をデザインに取り込んでいます。

新羽の地名の初出は古く、正応3年(1290)の鶴岡八幡宮文書とされています。地名の語源は、①鶴見川の舟運で荷物を揚げ下ろしする「荷場」が転じたもの。②「新」は開墾地、「羽」は端で山の端、丘が鶴見川に向かって突き出ている地形から、丘陵の端に開墾した土地との説があります。どちらにしても鶴見川に縁がある地名でしょう。

新羽地区は、長い間にわたって鶴見川から恩恵と被害を受けてきました。水害多発地帯

だった新羽地区は、「新羽と太尾には嫁をやるな、蛙の小便でも水が出る」と言われたほどでした。その一方で洪水は上流から栄養豊かな土をもたらしました。新羽から新吉田に広がっていた農地を三隅耕地と言いますが、横浜を代表する穀倉地帯で、多くのコメが穫れました。水害のない年は豊かな実りがあり、新羽村の生産高は周辺地域の中で最も高く、「新羽千石」という言葉も残っています。（・・・続く）

第29回全国中学生空手道選手権大会 優勝！！

この夏、山口県で行われた第29回全国中学生空手道選手権大会の団体戦で、本校の3年生のH. Yさん、M. Tさん、N. Tさん、2年生のU. Hさん、O. Kさんの5名が出場し、見事に全国制覇を果たしました。また、3年生のN. Tさんは、個人戦で3位となりました。9月3日に監督さんと選手のみなさんで校長室に全国制覇の報告に来ていただきました。部活動ではありませんが、本校の生徒たちが地域の活動に参加しての見事な活躍ですので、ご紹介させていただくとともにみなさんで喜びたいと思います。全国大会へは各都道府県から2チームの参加とのことで、県の代表として全国大会へ参加するのも大変だと思いますが、さらにトーナメント戦で優勝まで勝ち上がるのも、とても大変だと思います。本当におめでとうございます。そして、お疲れさまでした。



9月の給食のいち押しメニュー

- 9月14日 第1回ハマ弁メニューコンクール優秀賞献立 神奈川県の郷土料理弁当
ワカサギフライ、かぶの玉子炒め、しらすとわかめのさっぱり和え
里芋の煮物、けんちん汁
- 9月16日 新メニュー
チキンとほうれん草のクリーム煮、さばのハーブグリル、きのこのソテー
トマトスープ
- 9月21日 行事食「十五夜（芋名月）」
芋煮、鮭のきのこあんかけ、キャベツと小松菜のごま醤油和え、月見団子
油揚げと大根のみそ汁
- 9月30日 生徒考案 「地産地消で僕らの成長期サポート弁当」
ハニージンジャーポーク・蒸し野菜、はま菜ちゃんのしらす炒め、
ひじきたっぷりきのこチーズオムレツ、三角きんぴら、コーンクリーム
チャウダー